

単元 PDCA シート

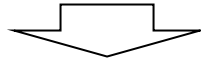
題材名(様子を表す言葉を集めよう)

研究の視点 何ができるようになるか

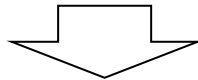
中学部における 育てたい力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
	各教科等の知識・技能 国語	自分の思いや考えを表現し、相手に伝える力	目標を意識して意欲的に取り組む力
		他者の思いや考えを聞き、対応する力	自分から役割を果たそうとする力
		集団で改善を考える力	自分の得意を生かしながら、共に取り組もうとする力

関連する 個別の指導計画 の目標	F 女	K 男	H 男
	・仲間からの声掛けに応じたり、自分から仲間に声を掛けたりしながら一緒に活動することができる。	・自分の考えや気持ちを適切な言葉で友達や指導者に伝えることができる。	・自分の思いや考えを指導者や友達に伝えることができる。

題材の目標 (各授業の中心的課題)	場面に合う様子を表す言葉を考えたり、言葉を聞いて動作化したりすることで、様子を表す言葉の意味や使い方を理解することができる。
----------------------	--



「育成を目指す資 質能力の三つの 柱」の観点で分析	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性 主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子を表すのに適した言葉やその使い方を知ることができる。 ・様子を表す言葉を使った文を聞いて適切にイメージし、行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画や写真を見て、様子を表す言葉が表現する意味や強弱から判断し、その状況に適した言葉を考えたり選択したりすることができる。 ・友達の動作がその様子を表す言葉に合っているか判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を表す言葉を使うことによさが分かる。 ・写真を見てその状況に合う様子を表す言葉を進んで考えたり、聞いたことを適切にイメージし、動作化しようとしてすることができる。




題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を表す言葉が表現している意味や使い方を知る。(知・技) ・動画や写真を見て、動きに合う言葉を考えたり、言葉の違いを考えたりして動作化することができる。(思・判・表) ・様子を表す言葉を使うことによさが分かり、進んで言葉を考えたり、言葉に合った動作をしようとしてすることができる。(主体的に学習に取り組む態度) 		
個別の評価規準 (個の目標)	F 女	K 男	H 男
	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を表す言葉が表現する動きを知り、言葉を聞いて動作化することができる。(知・技) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幾つかの様子を表す言葉の意味の違いを知り、その違いを説明することができる。(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見てその様子を表す言葉を考えて発表し、言葉をイメージしながら動作化することができる。(思・判・表)

◎：一人でできる ○：手がかりを参考にして △：指導者の促しで ×：できない

研究の視点 どのように学ぶか（主体的な学び・対話的な学び・深い学び）

学習活動	活動機会・支援環境・授業展開	
<p>2 動画を見て、言葉に対応した動作を選ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を表す言葉を含んだ例文を提示し、T1 と T2 がその例文に動作化した動画を視聴し、言葉に合った動きを判断する場を設定する。 ・類似した様子を表す言葉を知ることができるようにワークシートに記入したり、動作化したりする活動を行う。 <p>当初はイラストを見て様子を表す言葉と合う動作を考えていたが、イラストだけではその場面の音や動作の特徴を捉えることが難しかった。T1 と T2 が同時に動く、動画を見ることで、どちらの動きが言葉に合っているか比較して考えられるようにした。</p> <p>例示した言葉と類似の言葉も例に挙げ、ワークシートに記入することで「言葉集め」を行う意識付けができるようにした。</p>	 <p>〈T1 と T2 が例文を動作化した動画〉</p>  <p>〈言葉を記入するワークシート〉</p>
<p>3 写真を見て、様子を表す言葉を考える</p> <p>(1) 動作に合う言葉を考えて短冊に記入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を考えるのが難しい生徒には、言葉カードを用意し、いくつかの言葉の中から選択して短冊に記入できるようにする。 <p>語彙量が少ない生徒にとって、様子を表す言葉を考えて短冊に書くことは難しいため、写真といくつかの言葉を提示したカードを用意し、言葉を選択して短冊に書けるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が表現する強弱の度合いを矢印で示したシートと、様子を表す言葉を付箋紙に書いたものを提示し、K 男がシート上で付箋紙の言葉を動かして言葉が表現する強弱の度合いを視覚的に捉えられるようにする。 <p>当初 K 男は意味の違いを分かってはいるもののうまく説明できなかったことから視覚的に捉えて、言葉で説明できるように、度合いを矢印で示したシートを用いて、付箋紙に書いた言葉を置いて考えられるようにした。</p>	 <p>〈言葉カードを見て考える生徒〉</p>   <p>〈言葉の度合いを視覚的に捉えるシート〉</p>

<p>(2) 全体の中で発表し、動作化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 短冊に記入した言葉を全体の中で発表し、動作化する活動を設定することで、互いの考えを共有できるようにする。 二つの意味が違う言葉を実際に動作化して、どんな違いがあるのか比較する活動の際に、観点を示すことで、友達の動作や自分の動作を言葉と対応させることができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>当初は、言葉が表現することの意味や、力加減の強弱や長短の度合いが生徒によってまちまちであったため、多少の度合いの差はあるが、全体の中で発表して動作化することで互いのとらえ方を確認し合い、意味と動作を共有できるようにした。</p> </div>	 <p>〈言葉の意味の違いを動作化して確認し合う〉</p>
---------------------------	--	---

研究の視点 何を学ぶか

<p>学習指導要領での位置づけ</p>	<p>国語科 1段階 〔知識及び技能〕 ア(ア)身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 (エ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くこと。</p>			
<p>年間指導計画での位置づけ</p>	<p>国語科 Bグループ 伝えよう ・様子を表す言葉が表現している意味と使い方を知り、言葉を聞いて動作化することができる。</p>			
<p>学習指導計画</p>	<p>第1次 様子を表す言葉ってどんな言葉かな・・・・・・・・・・1時間 第2次 様子を表す言葉を集めてやってみよう・・・・・・・・・・8時間 (7/8時間) 第3次 様子の言葉でジェスチャーゲームをしよう・・・・・・・・・・1時間</p>			
<p>単元についての評価</p>	<p>指導内容</p>	<p>適切</p>	<p>指導形態</p>	<p>適切</p>
	<p>実施時期</p>	<p>適切</p>	<p>時数</p>	<p>適切</p>
<p>単元についての改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入部分で時間をかけて前時の復習をしたことによって、本時の学習活動の見通しがもてて、生徒が学習内容の思考を深めることにつながっていた。これから単元を進めていくにつれて時間を短縮して本活動に時間を取っていくことも必要である。 ゴムボールなどの具体物があったことで、生徒が実際に握って感触を確かめ、言葉を考える思考の助けになった。 学習した内容を生活の場で生かせるように、曖昧な指示を意図的に出す週間を設けることで、生徒が判断して行動できる場をつくと良い。 生徒から出てきた本来の使い方と違う言葉をどこまで許容するのか考え、実態に応じて正解に近付けていく必要がある。 			